

第3回 JACOT教育講座 ～子育てや保育のヒントが見つかる～

子どもの遊びを豊かにする 言葉と運動指導



菅野 良美 氏

元公立幼稚園教諭
東京家政大学 非常勤講師



戸田 雅美 氏

日本保育学会 会長
東京家政大学 教授



喜名 朝博 氏

全国連合小学校長会 顧問
国土舘大学 教授

2026年2月22日（日） 13:30～16:00

江東区立第二亀戸小学校・体育館（亀戸駅から徒歩10分）

【対象】教職員・保育士・学生・保護者など興味のある方

【定員】会場参加 100名、Zoomオンライン参加 100名

※リアルタイム配信

参加無料
先着順
申込受付中

詳細・申込
はこちら



《タイムテーブル》

13:40～14:10 【実践報告&体験】

脳と体幹を刺激する

コーディネーショントレーニング

菅野 映（JACOT副理事長・事務局長）

14:15～15:45 【鼎談】

子どもの遊びを豊かにする言葉と運動指導

菅野 良美 × 戸田 雅美 × 喜名 朝博

主催 特定非営利活動法人 日本コーディネーショントレーニング協会（JACOT）

後援 公益社団法人 全国幼児教育研究協会、東京都国立幼稚園・こども園長会



笑顔いっぱい！楽しく心と体を動かそう！ コーディネーション トレーニングの魅力

Co-ordination Training 「ジャングル鬼ごっこ」

様々なモノを障害物として置き（右写真）、「山」「川」「へび」などジャングルの中にあるかのように自然界の表現でイメージを共有して、想像環境の中で鬼ごっこをします。見本では、障害物を利用して鬼と駆け引きしたり、環境を取り込んでいる姿を印象付けることが大切です。「うまく逃げる」「ひっそりと隠れる」などの多彩で豊かな身体的な対応を引き出せるように工夫をします。また、発達や特性に応じて障害物や課題を変更したり、リスク管理を行うことが重要です。



コーディネーショントレーニングとは

運動学習を通じて、身のこなしを高め、知性・感性を伸ばします。考える力・感じる力を育て、様々な課題や環境変化に応じた、人間が持つ本来の適応能力と学習能力を引き出すことを目的としています。根本的には「学びの仕方を学ぶ」という点に着目したトレーニング（学習）です。



JACOT理事長 荒木 秀夫

主なトレーニングの内容と効果について

「寝返り立ち」「くの字運動」「ラディアン」など1人で行うものや、ペアで用具を使うもの、グループで行うものがあります。体の動きがスムーズになったり、運動のコツがつかみやすくなります。体力・運動能力や集中力が向上する等、幼児から高齢者まで効果が報告されています。



都幼P親子フェスタ！

実践された先生からの感想

東京都教育委員会「コーディネーショントレーニング地域拠点校」
江東区立第三大島幼稚園 元園長 貞方 敦子 先生

子どもたちは「ジャングル鬼ごっこ」がお気に入りです。様々なモノを組み合わせ「ここは〇〇で」「ここは△△ね」とイメージを持って伝え合いをしながら、楽しさを味わっていました。すごく集中して何度も繰り返しており、場を作って自分たちのイメージで創造していく、まさに「遊び」だなと思いました。この活動では、体を動かすことがあまり好きではないお子さんが、自ら積極的に参加する姿があり、それ以降は普段の運動遊びにも意欲的に取り組む姿が見られるようになりました。コーディネーショントレーニングは、どの子も「自分もできるんだ！」と実感できて、自己肯定感にもつながるのが魅力だと思います。最初の研修では魔法みたいな話だなと思っていましたが、本当に子どもたちの身体の使い方が変わりました。体力が向上し、姿勢の保持が改善され、怪我が少なくなりました。これからも取り組んでいきたいと思ひます。

